

事業所名

放課後デイサービスひだまり

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		ひとりひとりの個性に合わせた「あたたかみのある」支援を心がけていきます。スポーツや地域交流を通して、もっと楽しく！もっと充実した！放課後を目指します。						
支援方針		部屋に入ると、ほっと落ち着く雰囲気の中で、それぞれが好きな遊びを選び、安心してのびのび楽しめることを目的としています。好奇心を刺激する楽しいイベント、普段とは違う経験、異なる年齢の子どもたちとの交流や、集団での活動を通じて、子どもたちの心と身体の成長を見守ります。						
営業時間		月～金	10時	00分	18時	30分	送迎実施の有無	あり
		土・長期休暇	9時	00分	17時	00分		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握（連絡帳での体調、機嫌等保護者による記入）・持ち物管理のための個々の荷物置き場、かごの設置 ・衣類の着脱（外遊び、水遊び後の着替えのサポート） ・おでかけ（戸外でのルールを守る。交通ルール指導。現地での安全な行動の仕方。身体を動かし鍛える。） ・クッキング（食に対して興味を持ち、簡単な調理の体験をする。）						
	運動・感覚	・姿勢の保持の声掛け（学習、食事、制作活動時） ・外遊び（公園に出かけて、体を動かして自由に遊ぶ活動） ・室内遊び（ブロック、粘土、制作活動など、好きな遊びに自由にやりこめる時間） ・感覚に特性がある児童への配慮（耳栓の声かけ、個室利用等の環境設定） ・工作（スライム、粘土、紙等の様々な材質を使う経験をする）						
	認知・行動	・数や空間把握に関する認知の形成（レゴ、ブロック、ラキュー、立体パズル） ・時間に関する認知の形成（タイマーで時間を知らせる。時計に印をつけて時間を意識して行動する。） ・小集団でのゲームで適切な行動を促す。						
	言語 コミュニケーション	・活動前の約束事やルールを絵カードや写真を使つての説明。 ・小集団での遊びを通して、自分の思いを表現したり、相手の思いを受け入れる。						
	人間関係 社会性	・集団遊びやルールのあるゲーム（ドッチボール、鬼ごっこ）を通して思考や判断力を身に付ける。友達と協力したり、負けや失敗を受け入れる等、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身に付ける機会を作る。 ・お買物、電車体験、公共の施設での外部の人との関り方や、マナーを知る。						
家族支援		送迎時保護者様に、事業所でのお子様の様子をお伝えしたり、連絡帳を利用して情報共有を行っている。			移行支援		姉妹施設である放課後児童クラブそらいろの併用利用可。	
地域支援・地域連携		姉妹施設である放課後児童クラブそらいろとの交流。			職員の質の向上		事業所内研修、外部研修への参加。	
主な行事等		夏の川遊び、プール、夏祭り クリスマス会 節分豆まき 児童クラブそらいろとの合同おでかけ（歓迎遠足、年末ドッチボール大会）、避難訓練						